

千葉市ひと・まち・しごと創生会議 #2 マイオピニオン

<人口ビジョン> について

広く人口減問題を役所や市民に知って頂き、その課題の深さを認識して頂くためには、<3の推計と分析>、<4の与える影響>の部分のインパクトが弱い感じがします。TFRという略表記は、多少専門的で知る人ぞ知る感じがします。出生率の予測は全体として厳しく、パターン2の1.68そして2040に1.94はかなり楽観的な感じがします。厳しい推計シミュレーションによって、より早く適切な対応の議論を進めやすくするために、パターン2はより厳し目の方がよろしいと感じます。

<4の影響>も、議論や政策を活性化させるためには、より具体的に悪影響の方を見出しとして出してもよいかと思います。これも同じ趣旨からです。

<5の将来展望>は、人口動態、社会動態ともよりわかりやすく表現できた方がいいかと思います。自然動態は出生率、社会動態は、他県からの流入人口。(＋留学生や就労外国人増)

社会増の中には、留学生が増えて千葉で就職者、起業が増える事や就労する外国人(移民)が増えていく事も純粋プラスです。センシティブな問題ですが、大前研一さんや多くの(業界)関係者がこの議論を社会のいろいろな場所で進めるべきだと主張しています。

結果として、一番下の基本目標のイメージの中にも

自然増にも頑張るのであれば、自然増(出生率)、社会増(他県、他市からの流入人口)そして可能であれば、国際化(留学生や就労外国人の流入増加)に挑戦、、、等となると厚みが増すと思います。

<総合戦略 素案> について

重点戦略2 ⑤人材の育成の中に、(留学生の流入、外国人就労者の増加)を含める

重点戦略3 出生率について、千葉市の変遷と31年での成果目標を付けては? 例 1.7

重点戦略4 稲毛のスマートコミュニティのようなアクティブシニアの拠点展開を進める。(横展開?一東京のアクティブシニアの流入)

重点戦略7 おもてなし市民ボランティアの創設と強化?(日本語支援、街、会場ガイド、通訳、医療同行などのネットワーク化)

などです。どれもマイオピニオンレベルですので、検討や議論の題材としてお使い頂ければ幸いです。